

News & Schedule | information

長崎原爆病院で開催した行事やイベントをご紹介します。

News

2022.
12

- 2022年12月8(木)
ピアノ 寄贈式
塩塚総合商事株式会社さまより寄贈
- 2022年12月28日(水)
仕事納め式

2023.
1

- 2023年1月4日(水)
仕事初め式

Schedule

2023.
2

- 2023年2月18日(土)
大規模災害訓練

2023.
3

- 2023年3月4日(土)
市民公開講座 がんフォーラム

2023.
4

- 2023年4月3日(月)
辞令交付式
- 2023年4月3日(月)～
新規採用職員研修会



日本赤十字社長崎原爆病院の理念

赤十字の使命のもとに、地域並びに被爆者の皆様へ良質な医療を提供します

【病院の基本方針】

- ① 診療の専門性を高め、高度で良質な医療を提供します
- ② 被爆者の健康管理と診療の充実に努めます
- ③ がん診療の拠点病院として医療の充実に努めます
- ④ 医療連携を促進し、救急医療をはじめ地域医療に取り組みます
- ⑤ 赤十字及び行政と連携して災害時の医療救護活動を行います
- ⑥ 教育実習病院として医療従事者の教育に努めます

【患者さんの権利と責務】

- ① 個人の尊厳が尊重される権利があります
- ② 良質な医療を公平に受ける権利があります
- ③ 診療・治療に関する説明を受ける権利があります
- ④ 診療・治療行為を選択し決定する権利があります
- ⑤ 個人情報を守られる権利があります
- ⑥ 患者さんは、診療に必要な自分自身の健康状態に関する情報をできるだけ正確に医療提供者に伝える責務があります
- ⑦ 患者さんは、すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、病院の規則を守る責務があります



キッズクロス保育所のお正月

HOT NEWS

- ・院長より新年のご挨拶
- ・看護部長より新年のご挨拶
- ・キッズクロス保育所よりご挨拶
- ・News & Schedule information



院長より新年のご挨拶



院長 谷口 英樹

日本赤十字社長崎原爆病院をご利用の皆様、明けましておめでとうございます。院長の谷口でございます。今年も何卒よろしくお願い申し上げます。今年の干支はウサギです。これにあやかって飛躍の年にしたい令和5年です。

昨年1年間もやはりコロナに始まりコロナに終わった1年でした。今現在第8波のまっただ中で今後どうなるのやら、という不安な頭をもたげます。しかしながらコロナとの戦いも3年になりますし、だいぶ相手のこともわかってきました。今後はウィズコロナ、この病気とうまく付き合っていく知恵を生かしていく時期でありましょう。全てを制限するのではなく、メリハリの利いた対策で乗り切っていきたいと考えております。

とはいえやはり基本的な感染対策は重要で、マスク着用、手指消毒の徹底、三密を避けるなどの行動のほか、可能な方はできるだけだけのワクチン接種が求められると思います。

当院でも職員に対しては引き続きマスク着用の厳守、体温測定を含めた毎日の健康状態の報告、手指消毒の励行等感染防止策を徹底いたしております。また、アレルギーなどでワクチン接種ができない職員を除き、医療従事者については積極的にワクチン接種を勧めております。

当院をご利用の皆様にも、面会の制限や入館時の体温測定など様々なご不便をおかけいたしますが、入院、外来の患者の皆様を守るためですのでご協力いただければ幸いです。

また、現時点でもコロナ対応のため一般病棟を一つ閉鎖し、人員を確保したうえでコロナ病棟を運営しております。従いまして総病床数が40床以上減床状態となり、一般の疾患に対する診療も制限せざるを得ない状況です。病状によっては入院の延期等をお願いするケースもあろうかと思いますが、ご理解いただきたいと存じます。

病床のやりくりを含め色々制限のある中ですが、当院といたしましては極力皆様の健康状態が損なわれないよう全力を尽くしますので、安心してご利用ください。

なお、当院の情報発信の一環として引き続きTwitter、Facebook、院長ブログなど様々なツールを用いております。ご興味のある方はぜひ当院ホームページをご覧ください。

冒頭申し上げた通り今年も干支の兔にあやかって、飛躍著しい1年でありたいことを願っております。これからも地域に根差した急性期病院として、被爆者医療はもとより一般診療、災害救護等課せられた使命を全うするべく頑張っております。今年も宜しくお願い致します。



看護部長より新年のご挨拶



看護部長 中村 清美

皆様、明けましておめでとうございます。

2020年春、全世界は新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」）と闘う社会へ一変し、現在に至って丸3年になろうとしています。コロナの病態は解析が進み、感染症分類も季節性インフルエンザ並みに取扱われるとの動向もあります。

新しい『Withコロナ』の社会に早く順応していきたいものですね。

さて、コロナの取扱いがインフルエンザ並みになった折には、コロナ専用病棟として稼働しております「緩和ケア病棟」が、本来の機能を発揮できる再稼働の時期と心待ちにしております。緩和ケア病棟の『あなたに寄り添い、あなたらしく過ごせるように支えます』という理念の1日も早い実現を願い、準備を整えなければと心新たにしております。

がん患者の診断・治療から緩和までのトータルなケアを担う地域がん診療連携拠点病院として役割発揮ができる体制整備・充実を目標に進めておりますが、『訪問看護』とも連携しながら、効果的・効率的な運営で、在宅に繋がる、地域で暮らす患者・ご家族に安心を与えられる看護の提供に努めて参ります。また、地域の医療・介護・福祉を担う皆様方との連携が更に強固なものとなって、地域包括ケアシステムの中で役割が発揮できるよう職員一丸となって躍進して参ります。

地域の皆様の身近で利用しやすい、職員には働きやすい病院として、より良い環境の提供に努めて参ります。皆様、今年もどうぞ、宜しくお願い申し上げます。

キッズクロス保育所よりご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

新舎へ移転して無事に2年目のお正月を迎えることができました。

日頃より支えて下さっています院長先生はじめ、看護部長様、病院関係すべてのスタッフの皆様には心より感謝しております。

「キッズクロス保育所」は小規模施設ではありますが「保育内容が充実」「子どもひとりひとりの個性を大切に」「子どもの心に寄り添う保育」を目標にし、いつも笑顔に溢れています。これからも職員が安心して勤務できますよう、子ども達と楽しく過ごしていきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願い致します。

